

クロスファイヤー放水銃 取り扱い説明書

項目

1. 概要
2. 特長
3. 仕様
4. 構造及び機能
5. 使用方法
6. 注意事項

1. 概要

この機種は可搬式消火機器として開発され、放水方向に固定した後は無人でも安定した放水を続けることができます。

又、脚は折りたたみ式であり、モニター本体とポータブルベース（固定部）とは2分割タイプで簡単に装着出来ますので持ち運びに非常に便利な放水銃です。

2. 特長

- 1) 上下駆動はギヤー操作で大変軽く、取扱い操作简单です。
- 2) モニター本体とポータブルベースとはワンタッチで装着出来ます。
- 3) ポータブルベースの脚はコンパクトに折りたためますので、持ち運びに便利です。
- 4) 材質はアルミニウム合金（耐食表面処理）で軽量、コンパクトです。

3. 仕様

- 1) 名称：クロスファイヤー放水銃
- 2) 俯仰角度：+35° ~ +90°
- 3) 旋回角度：左右 90°
注）旋回角度は放水圧力、流量、俯仰角度、路面状況を考慮の上、ご使用下さい。
- 4) 質量：約 20 kg
- 5) ホース接続口：65 差込式受け金具、又は 75 差込式受け金具：2 口（JIS B9911）
- 6) ノズル接続口：65 米ネジ金具（2.5 - 7.5NH ネジオス）

4. 構造及び機能

1) 構造

クロスファイヤー放水銃は図 1 に示す様に、主にモニター本体とポータブルベースから構成されています。

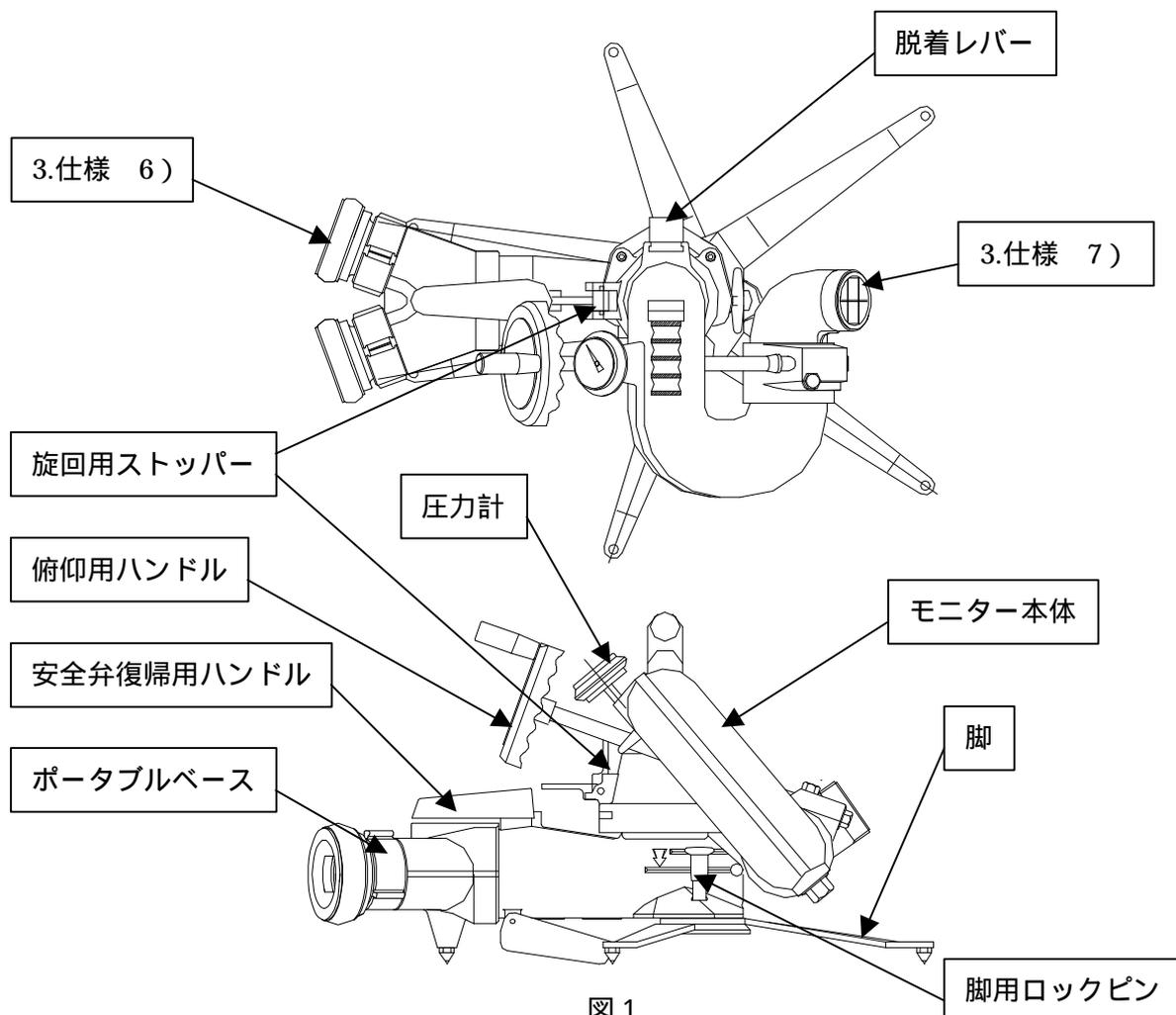


図 1

2) 機能

1. ホース接続口は 65 又は 75 差込式メス金具、ノズル接続口は 65 ミネジオス金具となっています。
2. 上下方向の動作範囲は+35° ~ +90°、旋回方向の動作範囲は左右 90° です。
3. 脚は持ち運び便利な様に折りたたみ式であり、又、脚の開閉ストップはスプリング式ロックピンが備わっています。
4. この機器のノズル推奨最大放水量は 1900L/min. です。但し俯仰旋回位置にも依りますが、ノズル圧力、ノズル口径の選定により最大 4800L/min.迄の放水が可能です。

5. 使用方法

1) 脚の開閉

放水時は、脚は全開まで確実に行って下さい。脚が半開のままの状態では放水されると、本機器が転倒し非常に危険です。(全開時には脚用ロックピンが働きます。)

2) モニター本体とポータブルベースの脱着

モニター本体をポータブルベースにはめ込み、脱着レバーを押すとロックされます。はずす場合は、脱着レバーのピンを押しながらレバーを上げるとロックがはずれます。

3) 上下操作

操作は俯仰用ハンドルにて行いますが、時計方向に回せばノズルは上昇し、反時計方向に回せばノズルは下降します。

4) 旋回操作

旋回操作はモニター本体を直接手で回すことにより行いますが角度が決まれば旋回用ストッパーにて固定して下さい。

6. 注意事項

1) 保守・点検

1. 外観に損傷、緩み等のないことを確認して下さい。
2. 塗装剥げの箇所からの錆、腐食に注意し、必要とあれば再塗装を行って下さい。
3. 車に積載される場合は、固定方法にご注意下さい。

2) 使用上の注意

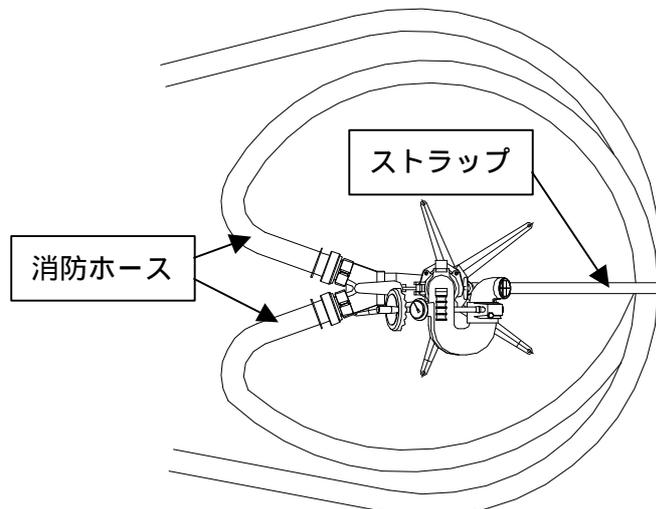
ノズル接続口にノズル(管銃)を確実に接続して下さい。結合が不具合のものは使用しないで下さい。

放水前には脱着レバーが確実にロックされているかどうか確認して下さい。

放水前には必ず脚が全開状態かどうか確かめて下さい。

ホース接続口にホースを確実に接続して下さい。結合が不具合のものは使用しないで下さい。

旋回角度は最大左右各 90° ですが、放水圧力、流量、俯仰角度、路面状況を考慮の上、ご使用下さい。ノズル推奨最大放水量は 1900L/min. ですが、放水条件により最大 4800L/min. まで放水可能です。但しこの場合も反動力により移動もしくは転倒する場合がありますので安全の為に必ず付属のストラップを下記の要領でご使用下さい。



放水場所が不安定な場合は必ず脚を固定して下さい。
差込式受け金具のOリングが取り付けられているか、劣化していないか点検して下さい。
劣化しているものを使用しますと漏水の原因になります。
使用後は清水で洗浄し、付着した土砂等を洗い流して下さい。

* 万一、不適切なご使用による事故等が発生しましても責任を負いかねます。